

「法学を学んだ」ことの実績の証明に!!



法学検定試験

主催：法学検定試験委員会
公益財団法人日弁連法務研究財団
公益社団法人商事法務研究会

2023年11月26日(日)実施

- 出願期間：9月12日(火)～10月12日(木)
 - 願書提出締切：10月13日(金)
 - 受験料(税込)：
 - ベーシック〈基礎〉コース・・・・・・・・・・ 4,400円
 - スタンダード〈中級〉コース・・・・・・・・・・ 6,600円
 - アドバンスト〈上級〉コース・・・・・・・・・・ 9,900円
 - 併願 ベーシック・スタンダードセット*・・・・・・・・ 8,800円
 - 併願 スタンダード・アドバンストセット*・・・・ 13,200円
- *セット割引は2つのコースを同時に申し込んだ場合のみ適用されます

● 法学検定試験とは

『**法学の知識を客観的に評価する、日本唯一の全国規模の試験**』です。大学での単位認定だけでなく、企業の人社・配属時の参考資格など、さまざまな場面で活用されています。

● 主な受験者

法学部生を中心に、法科大学院生、公務員などの社会人等、法律に関わる多くの方々が受験しています。法学部生では主にベーシックを1～2年生が、スタンダードを2～3年生が受験しています。学習が進んでいる方はアドバンストにチャレンジしてみてください。

● 法学検定の活用

就活の際に履歴書に記入することができ、**法学部生としてしっかり学んだことを証明する材料**になります。

また、**宅建・行政書士・司法書士**などの法律資格や**公務員試験**を目指すための足固めとして非常に有益です。

もちろん、法科大学院や司法試験を目指す方にとっては、ステップアップに最適です。

法学既修者としての学力を有しているか否かの判定材料として、多くの法科大学院で法学検定試験の成績が参考とされています。

— 5つのメリット! —

- ① 授業前後の**予習復習ツール**として活用
- ② **試験前の知識確認**に最適
- ③ 自己の**学習到達度を確認**する指標
- ④ **就職試験でのアピール**材料
- ⑤ 法律資格や公務員試験のための**土台固め**

● 試験レベル・受験科目

ベーシック〈基礎〉コース

法学入門、憲法、民法、刑法

→法学の初学者がまずはおさえておくべき
基礎的なレベル!

スタンダード〈中級〉コース

法学一般、憲法、民法、刑法、
選択(民訴、刑訴、商法、行政法、基本法総合から1科目)

→法学を学習する者が到達すべき
必須レベル!!!

アドバンスト〈上級〉コース

法学基礎論、憲法、民法、刑法、
選択A(民訴、刑訴、商法、行政法)から1科目、
選択A・B(労働法、破産法、経済法、知的財産法)から1科目

→法学を専門的に学ぶ者が目指すべき
上級レベル!!!!

● 法律出版社がバックアップ

後援：株式会社 三省堂，株式会社 商事法務，株式会社 有斐閣

効果的な学習のために・・・

ベーシック・スタンダードコースには**公式問題集**があります

⇒問題集をしっかり学習していれば解ける問題が全体の**6～7割**出題されます！

公式問題集・過去問集

ベーシック<基礎>コース

レベル⇒法学部2年次程度
主な受験者：法学部1年次生～2年次生

	受験科目	試験時間
必須	法学入門 憲法 民法 刑法	120分

【4科目・合計60問】
科目＝法学入門10問/民法20問/その他各15問

合格率は例年、約60%!!

【学習教材：公式問題集+各科目の入門書】

『2023年法学検定試験問題集 ベーシック<基礎>コース』

定価 2,420円(税込)



授業前後の予習復習ツールとして
問題集を利用しながら合格をめざそう

6～7割が問題集から出題*

詳細な解説付きで自習も可能！
問題集に取り組むことが合格への近道です！
*問題集の問題がそのまま出題されるとは限りません

スタンダード<中級>コース

レベル⇒標準的な法学部3年次程度
主な受験者：法学部2年次生～3年次生

	受験科目	試験時間
必須	法学一般 憲法 民法 刑法	150分
選択	選択科目Aおよび基本法総合* から1科目	

【5科目・合計75問】
科目＝法学一般10問/民法20問/その他各15問

[選択科目A]

①民事訴訟法 ②刑事訴訟法 ③商法 ④行政法
必須4科目に加え1科目選択の5科目です

合格率は例年、約55%!!

【学習教材：公式問題集+各科目の教科書】

『2023年法学検定試験問題集スタンダード<中級>コース』

定価 4,290円(税込)



・公務員試験などの受験を考える人の土台固めにも
・自己の学習到達度を確認する指標として

6～7割が問題集から出題*

全8科目の問題が収録されているので
受験対策以外にも授業に有効活用可能！

***基本法総合は、憲法・民法・刑法から出題します**

問題集の憲法・民法・刑法の収録問題から6～7割が出題される他、
やや難易度の高い問題や他の法分野との境界領域の問題も
出題されます

アドバンスト<上級>コース

レベル⇒学習の進んでいる法学部3年次～修了程度
主な受験者：法律資格を目指す法学部生
法律実務に従事する公務員や法務スタッフ

	受験科目	試験時間
必須	法学基礎論 憲法 民法 刑法	150分
選択	選択科目AおよびBから2科目*	

【6科目・合計55問】
受験科目＝法学基礎論10問中5問選択/その他各10問

[選択科目A]

①民事訴訟法 ②刑事訴訟法 ③商法 ④行政法

[選択科目B]

⑤労働法 ⑥破産法 ⑦経済法 ⑧知的財産法

*選択科目Aから少なくとも1科目選んでください
必須4科目に加え2科目選択の6科目です

合格率約20%の難関コース!!

【学習教材：公式過去問集+各科目の基本書+各種判例集】

『2023年法学検定試験過去問集アドバンスト<上級>コース』

定価 3,850円(税込)



・より上位の法律資格や公務員試験を
目指す方のステップとして
・意識の高い学生生活を送るために

過去3年分の過去問を収録
過去問で傾向に慣れよう！

過去問集のため、この中からの出題はありません
問題集ではありませんのでご注意ください

出願から成績通知までのフロー（個人申込の場合）

※団体出願については、申込み責任者に必ずご確認ください

出願書類配布開始 2023年9月～	<p>■出願書類（受験要項・願書・専用封筒）の入手方法</p> <ol style="list-style-type: none">①大学生協購買部・主要書店（特約書店等）からの入手 …特約書店等で無料配布します。②ウェブサイト等での出願書類の請求 …ウェブサイトから出願書類の請求ができます。
出願受付開始 2023年9月12日	<p>■申込みの方法</p> <p>【郵送での申込み】</p> <ol style="list-style-type: none">①受験料を特約書店等へ支払う場合 特約書店等で受験料を支払い、特約書店等発行の「書店払込証書」と「願書」を「専用封筒」に入れて、法学検定試験委員会事務局へ郵送してください。②受験料を指定口座へ振り込む場合 下記の銀行口座に受験料を振込み（ATM可・インターネットバンキング不可）、 「振込金額」と「振込人氏名」が明記されている利用明細、 振込証明書等の振込み証明書類「願書」を「専用封筒」に入れて、 法学検定試験委員会事務局へ郵送してください。
出願受付終了 【郵送申込締切】 2023年10月12日 （10月13日〔消印有効〕） 【ウェブサイト、コンビニでの 申込締切】 2023年10月16日 ※ウェブ申込+コンビニ決済 の場合は 10月12日	<p><u>受験料振込先</u></p> <p>みずほ銀行 銀座支店（普通）2275905 口座名 法学検定試験委員会事務局</p>  <p>【ウェブサイト、コンビニ（店頭設置機械）からの申込み】 受付期間中は、ウェブサイトの出願専用ページ（QRコードから直接アクセスできます）または全国のコンビニ（店頭設置機械）から直接、受験の申込みができます（締切日にご注意ください。ウェブサイトから申し込まれた場合、支払方法で締切日が異なります）。 ウェブサイト、コンビニ（店頭設置機械）から直接、受験を申し込まれた場合は、願書の郵送は不要です。</p>
受験票の発送 2023年11月上旬	<p>■受験票の到着・写真の貼付</p> <p>受験票は願書に記載された住所宛に、直接受験者に発送します（併願の場合、コースごとに1通ずつ）。<u>受験日より6日前までに受験票が到着しない場合には</u>法学検定試験委員会事務局までご連絡ください。 受験票には写真貼付欄（1カ所）がありますので、写真を貼付してください。 写真の大きさは縦4cm×横3cmで6か月以内に写した無背景、上半身脱帽、正面の証明写真に限ります。写真のコピー、家庭用プリンターで普通紙に印刷したもの、プリクラ、サングラス着用、集合写真は認められず、成績通知書を発行いたしません。 試験当日に写真票は回収いたします。</p>
試験当日 2023年11月26日	<p>■受験票の持参</p> <p>受験票（写真貼付欄〔1カ所〕に写真貼付のことは当日必ず会場に持参してください。</p>
試験結果発送 2024年1月上旬	<p>■試験結果の発送</p> <p>試験結果は、願書に記載された住所宛に発送します（願書に記載された住所と現住所が異なる場合は、必ず郵便局に転送届をお出ください）</p>

問題集を利用した勉強方法

【Study Plannerを使ってみよう！】

→問題集巻末Study Plannerを利用して苦手分野の洗い出し、日々の勉強の可視化をすることでモチベーションの維持

①“今週の計画”

まず1週間の計画を立てよう！

今週の到達点を決めて、そのためにやることも書き出しておこう。ざっくりとでよいので一日に進めるペース配分も設定

②“今週の実行”

今週実行した分の結果の洗い出しとして、どのくらいが理解できていたかを書きだそう。

③“Review”

間違えたところや理解があいまいだった部分として教科書で確認すべき問題、頻出な重要論点と思われる問題を洗いだそう。


あの論点はどのような問題として出題されるか、問題集に戻って振り返りが出来るように問題番号もメモ！

重要な判例は書き出しておいて、どの論点（問題）ででていたか、メモしておこう。

【授業を中心に】

①授業で出てきたキーワードを基に問題集を復習として使う

民法の授業で「未成年」「保佐」「補助」というところをやった

→ベーシック問題集の下の方にあるキーワード  の「行為能力」「未成年者の行為能力」「成年後見」「保佐・補助」の問題を解いてみる

②間違えたところや理解があいまいだった部分を教科書で確認

→キーワードを基に目次で該当箇所を復習（該当箇所が分からない場合や目次にないキーワードを調べたい場合は事項索引等から探す）→あいまいな部分の要点をノートに書きだす

【問題集を中心に】

①問題集を一通り解いてみる

解けた問題に青い付箋

偶然解けただけの問題に緑色の付箋

間違えた問題に黄色の付箋

解説を読んでもよくわからない問題に赤い付箋



②全問を解き終わったら緑色の付箋、黄色の付箋について問題・解説を再度読む

一通り読んだら、緑色、黄色付箋の問題を再度解く

不安が残る問題はメモに問題番号を記しておく

③赤い付箋の解説をよく読み、わかりづらいキーワードはノートに書きだす

ノートに書きだしたキーワードについて教科書等で調べる

④赤い付箋の問題をもう一度解いてみる

⑤再度①から繰り返す

4月	5月・6月	7月・8月	9月・10月	11月	試験日
	1日目	確認・復習期	2日目	復習	本番！
ガイダンス	間違えた問題、偶然解けただけの問題に付箋を付けながら問題集を一通り解いてみる	確認 間違えた問題、偶然解けた問題の確認	問題集2日目	復習 分からない問題がないかどうか復習	全力を尽くす

Study Plannerを使用した学習方法

Study Plannerを実際に使用した方の利用例と合格体験談

Study Planner Date: 5/13 ~ 5/18

○今週の目標・テーマ
問題集最低3週分

○今週の計画

Subject	Goal / Topic	To Do
法学入門	41~60 [10]	正解の問題と解説を
憲法		
民法	21~30 [10]	正解の問題と解説を
刑法		

○今週の進捗

Subject	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN	Total
法学入門	5	5				5	5	20
憲法			5	5				10
民法								
刑法								

○今週の達成率

目標 20 問 - 達成 14 問

達成率 70%

→ とても良く復習できています。公務員試験の勉強でも、このおし自らの弱点やポイントを「見える化」しておく有効です。

○Review Page

○問題集No. 1

問題集No.	復習	CheckPoint	My Text
24	法解釈の対比と立憲主義	立憲主義の原則、立憲主義の原則	
25	債権発生	「所有権」の帰属の確定	
26	民事訴訟と刑事訴訟	控訴 - 控訴状	
27	行憲主義	行憲主義の原則	
28	契約の有効性	契約の有効性	
29	代理権の消滅の代理	代理権の消滅の代理	
30	しりぞきの契約	しりぞきの契約	
31	無効の取消	無効の取消	

○よく読んでおくべき判例

問題集No.	重要判例	My Text
41	裁判例49・10/17民集28-10-2090	

○今週の目標と計画

正答率を上げる

3回連続の正答率をあげたいです。非復習を減らしたい。地道な努力で定着させたい。また、法律の知識が活かせる都道府県も目指しています。

←ゼミの先生からコメントも



【合格体験談】

受験したきっかけは、私の大学では講義の一環として法学検定試験の勉強をしていたことから、この機会にこれまで学んだ法律の知識がどれだけ身についているかを確認したいと思い受験に挑みました。また、今回グループ受験で挑んだため仲間と一緒に合格しようという目標達成のモチベーションもできたことがきっかけとなりました。

勉強方法は、法学検定試験の公式問題集を中心に勉強してきました。試験やテストなど覚える範囲が広い場合、いかに記憶を継続的に残すかが重要になってくると思いますが、私の場合は毎日コツコツ型で勉強していました。具体的には通学時間や空き時間などの隙間時間に行うこと以外に講義の一環として、まず予習として問題集から指定された問題を1週間のうちに30問勉強し、次の講義で先生が作成した小テストを行う流れを4月から試験日近くまで行ってきました。そのため少しずつの進捗にはなるのですが、その分心的にも負担がかからず楽しく勉強ができたことや、勉強計画が立てやすいため他の勉強と並行してできました。さらに一緒に受験する仲間と勉強することで分からないところは気軽に相談することができ、すぐに新しい知識を得られ理解を深めることができました。復習に関しては、特にアウトプットに時間を費やすことを意識していました。①テストの翌日②1か月ごと③試験直前、の計3回は行うことで、どこが分かっているのかを確認できるため効率よく継続的に覚えることができました。また、基本的な一般常識も改めて知ることができました。試験日近くは、追い込みとして問題集を何度も見返したり、今まで行った小テストを解直し、知識を確立させていきました。

結果としては、自分の満足がゆく点数を取るという目標達成は成し遂げることができず悔いが残りましたが、合格に向けてのプレッシャーや緊張がある中、今まで勉強した努力が実を結ぶことができたためうれしく思いました。

今回の法学検定試験を通し自分が苦手とする分野を発見できたことが1番の収穫でした。そのため今回学んだ知識を忘れずとどめておくことはもちろんのこと、これから苦手とする分野を重点的に勉強し、また機会があれば上位のスタンダード〈中級〉コースに挑戦したいと考えています。

法学検定試験問題集ベシック基礎コース 達成シート

1 返目 1 返目 1 返目

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20

21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40

41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60

61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80

81 82 83 84 85

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20

21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40

41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60

61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80

81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20

21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40

41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60

61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80

81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100

達成シートでどこまでやったか可視化!

2023年 国

法学検定試験問題集

ベシック (基礎) コース

BASIC ★

基本法の基礎知識を身につける
法学学習のスタートに
法学の基礎知識を身につけることで、試験に自信を持って取り組むことができます。

試験日 2023年11月26日

2023年 国

法学検定試験問題集

スタンダード (中級) コース

STANDARD ★★

資格試験の基礎固め、
就活の自己アピールに
法学の基礎知識を身につけることで、試験に自信を持って取り組むことができます。

試験日 2023年11月26日

2022年の出題例

【ベーシック〈基礎〉コースよりご紹介】 **Let's Challenge!** 正解はこのページの下にあります

①

日本国憲法の定める国民の義務に関する以下の記述のうち、誤っているものを1つ選びなさい。

1. 日本国憲法が定める権利や自由は「常に公共の福祉のためにこれを利用する責任を負ふ」ものとされるが、この責任は、国民に対して法的義務を課すものではない。
2. 教育の義務は、子どもが普通教育を受ける義務ではなく、親が子どもに普通教育を受けさせる義務である。
3. 勤労の義務は、国民に勤労すべき道徳的義務を宣言したにすぎず、この義務を根拠に、国民に強制労働を強いることは許されない。
4. 納税の義務は、国民が自発的に履行すべきものであるから、本人の同意なしに課税することは許されない。

(憲法 問題2)

②

詐欺罪（刑法246条）に関する以下の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

1. レストランで飲食をした後、所持金がないことに気がついたため、店員の知らないうちに、飲食代金を支払わずにそのレストランを立ち去った場合、詐欺罪が成立する。
2. 業者が設置した自動販売機に偽造した硬貨を投入して、商品である缶ビールを取り出した場合、詐欺罪が成立する。
3. 靴販売店において、購入の意思がないのにあるようにみせかけ、店員に店内での靴の試し履きを申し入れ、店員から渡された靴を履いた後、店員が後ろを見ている際に、気づかれないようにそのまま店を立ち去った場合、詐欺罪が成立する。
4. 債務者が、すでに債務を弁済したと偽って、それを信じた債権者から債務弁済の要求を免れた場合、詐欺罪が成立する。

(刑法 問題12)

2022年の実施状況

●ベーシック〈基礎〉コースの志願者数・実受験者数・合格者数・合格率一覧

志願者数	受験者数	平均点(60点満点)	合格点(excellent)	合格者数(excellent)	合格率
3,406名	2,927名	36.0点	33点(48点)以上	1,841名(369名)	62.9%

●スタンダード〈中級〉コースの志願者数・実受験者数・合格者数・合格率一覧

志願者数	受験者数	平均点(75点満点)	合格点(excellent)	合格者(excellent)	合格率
1,558名	1,336名	44.8点	43点(60点)以上	757名(143名)	56.7%

●アドバンスト〈上級〉コースの志願者数・実受験者数・合格者数・合格率一覧

志願者数	受験者数	平均点(55点満点)	合格点(excellent)	合格者(excellent)	合格率
318名	248名	27.5点	33点(39点)以上	64名(22名)	25.8%

正解：①＝4，②＝4

2022年表彰者一覧と表彰式の様子

👑 個人賞 (各コースの最高得点およびそれに準ずる者若干名) (敬称略)

ベーシック<基礎>コース (60点満点)	
最優秀賞 大原 大輝 (20歳) 北海道 60点	
優秀賞 D・M (20歳) 神奈川県 59点	
優秀賞 藤井 恵 (18歳) 大阪府 58点	優秀賞 村瀬 裕矢(18歳)北海道 58点
優秀賞 N・F 58点	優秀賞 T・O (50代) 北海道 58点

スタンダード<中級>コース (75点満点)		
最優秀賞 高橋 蒼 (15歳) 千葉県 70点	最優秀賞 藤本 佳孝 (52歳) 東京都 70点	最優秀賞 村田 葵 (19歳) 熊本県 70点
優秀賞 真壁 遼 (20代) 福島県 69点		

アドバンスト<上級>コース (55点満点)	
最優秀賞 新海 諒河 (21歳) 愛知県 49点	
優秀賞 星 芳夫 (74歳) 新潟県 44点	

👥 団体賞 (各コース20名以上受験の団体)

【合格率の部】

【合格者数の部】

ベーシック<基礎>コース	
第1位 新潟大学	100%
第2位 信州大学	93.3%
第3位 茨城大学	87.7%

ベーシック<基礎>コース	
第1位 札幌学院大学	121人
第2位 立正大学	106人
第3位 近畿大学	103人

スタンダード<中級>コース	
第1位 東京経済大学 キャリアサポート・コース	80.0% (24名)
第2位 南山大学	80.0% (20名)
第3位 金沢大学	68.2%

スタンダード<中級>コース	
第1位 札幌学院大学	64人
第2位 東北学院大学	32人
第3位 国土館大学	28人

👥 グループ賞 (各コース10名以上のグループで合格者上位5人の平均点)

ベーシック<基礎>コース	
福岡カレッジ・オブ・ビジネス	53.2点

※団体賞はアドバンストコースは該当なし
グループ賞はスタンダードおよびアドバンストコースは該当なし



グループ賞：福岡カレッジ・オブ・ビジネスのみなさん



個人賞：新堂委員長（当時）にサインをいただき記念撮影

法学検定試験の概要

●「法学検定試験」とは

「法学検定試験」は、法学全般に関する学力水準を客観的に測る全国規模の国内唯一の検定試験として、法学検定試験委員会が2000年から実施する試験です。大学等で修得した法学的素養がどのようなレベルにあるかを客観的に証明するツールとして、法学部在学、出身か否かを問わず、毎年多くの学生や社会人等がチャレンジしています。

ベーシック〈基礎〉コース、スタンダード〈中級〉コース、アドバンスト〈上級〉コースの3つのコースがありますので、学習進度に応じてコースを選択し、徐々にステップアップしていくことが可能です。大学での単位認定、企業への入社や配属時等、さまざまな場面で利用されています。

● 法学検定試験委員 (2023年4月現在)

◎ 委員長

高橋 宏志 公益財団法人日弁連法務研究財団名誉会長・東京大学名誉教授

○ 副委員長

山下 友信 公益社団法人商事法務研究会代表理事会長・東京大学名誉教授

委員 (五十音順)

井田 良	中央大学教授
小幡 純子	日本大学教授
初宿 正典	京都大学名誉教授
永井 和之	中央大学名誉教授
中田 裕康	東京大学名誉教授・一橋大学名誉教授
三井 誠	神戸大学名誉教授
安永 正昭	神戸大学名誉教授

顧問

新堂 幸司 公益財団法人日弁連法務研究財団名誉会長・東京大学名誉教授

法学検定試験 各コース実施要領

・受験資格

「法学検定試験」は、どなたでも受験することができます。受験資格は一切問いません。

ベーシック〈基礎〉コースとスタンダード〈中級〉コース、スタンダード〈中級〉コースとアドバンスト〈上級〉コースは併願することができます。

・試験会場

一般会場と団体会場があります。詳細は9月上旬より配布の「受験要項」(ウェブサイトには6月頃掲載予定)をご参照ください。

・出題形式・解答方式

出題は多肢択一形式、解答方式はマークシート方式です。

・持ち物

受験票(写真を貼付のこと)、筆記用具(HB・Bの黒鉛筆、消しゴム)、腕時計(腕時計に準じるサイズの置き時計可)。

・試験時間

コース名	集合時刻	試験時間
ベーシック〈基礎〉コース	9:40	10:00~12:00(120分)
スタンダード〈中級〉コース	13:40	14:00~16:30(150分)
アドバンスト〈上級〉コース	9:40	10:00~12:30(150分)

お問い合わせ



法学検定試験委員会事務局

〒103-0027 東京都中央区日本橋3-6-2 日本橋フロント3階

Tel : 03 (6262) 6730 受付時間 10:00~17:00 (土・日・祝日は除く)

※お電話でのお問い合わせは受験者ご本人に限らせていただきます。
その他のお問い合わせはメールでお願いします。

E-Mail : houken_since2000@jimu-kyoku.net

Twitter :

@houken_since00



法学検定試験

Q 検索

